

# 阿知須地域づくり協議会だより

2024.3.15  
No.49

発行：阿知須地域づくり協議会（あいあい館内）  
〒754-1292 山口市阿知須2743番地 ☎ 0836-65-4127 FAX 0836-65-4127  
E-mail : ajdukuri@c-able.ne.jp

## 阿知須地域

- 人口 9,404人  
(男4,502人、女4,902人)
  - 世帯数 4,167世帯
- ※令和6年1月31日現在

阿知須地域の情報を  
メールで配信中!



docomo&au softbank

訃報情報等の配信

登録方法

宛先
ajisu@y.scsymg.jp
件名
登録
本文
なし

## 「あじすふれあいまつり」を満喫!

～新たに「あいあい館駐車場」を加え、広くなった会場で開催～

「あじすふれあいまつり」を開催しました。今年度から「あいあい館」（阿知須総合支所・阿知須地域交流センター）の新駐車場が使えるようになり、その広々とした会場の「味自慢コーナー・体験コーナー」は大盛況でした。また、体育センター前駐車場のフリーマーケット会場もにぎわい、「あじすふれあいまつり」の新しいスタートとなりました。



開会行事



大勢で楽しんだ餅まき



フリーマーケット



味自慢コーナー



阿知須小学校よさこいチーム“ナユタ”  
よさこい、ソーラン演技



空手道スポーツ少年団  
力強い空手演武



井関小学校 金管バンド演奏



あじす保育園 よさこい演技



阿知須幼稚園 小旗演技



子どもたちに大人気の  
シャボン玉ショー



トゥクトゥク乗車体験



多くの地元企業に協賛いただいた  
スーパービンゴ大会



# やまぐち元気21ミーティング

＝令和5年9月30日(土) 阿知須地域交流センター(あいあい館)で開催＝

やまぐち元気21ミーティングには、阿知須地域住民を代表し、地域づくり協議会から正副会長と正副事業部会長8名が出席し、市長と地域課題について質疑応答形式で話し合いました。ここでは、その質疑応答について紹介します。進行としては、まず市長からは市政報告があり、次に阿知須地域からの自由意見として地域づくり協議会の会長が現在の地域課題と、これまで要望した地域課題で、県・市の事業として今もって取り上げられていない案件について質問いたしました。

## 懸案事項1 地域の災害対策について

＜会長＞昨年、一昨年の移動市長室で、阿知須地域の過去の高潮による浸水被害という苦い経験を踏まえ、今の車社会を反映した、浸水域の世帯が一斉に車で安全に避難できる場所を確保しておくことが必要と考え要望させていただきました。具体的な場所についても、最寄りの高台であるサンパークあじすの南側周辺が適地ではないかとの考えもお示しいたしたところです。

避難場所として地域での意識の定着化を図ることは重要で、平常時には誰もが自由に利用できる運動公園として利用することで、災害時には素早く行動できるようになるとともに、平成11年の高潮による浸水被害を経験していない若い世代にも当時の災害の啓発にも繋がるものと考えております。

また、阿知須地域内には運動広場として「あじす元気ランド」がありますが、これは県から借用している土地で市におかれましても継続して使用できるようにご尽力いただいております。大変感謝しておりますが、県の考えによっては、使えなくなることもあるかと思っております。

これらの阿知須地域の現状も踏まえ、早急に運動広場の機能を有した避難場所の整備を要望し、まずは調査費の計上だけでもお願いできないかということで、ご提案をさせていただいております。よろしく願いいたします。

＜市長＞昨年の要望からまた引き続きの継続案件ということで受け止めております。これについては、南海トラフが起きた時の津波対策としての瀬戸内側エリアを守っていくのかといった観点でまず必要だと思っております。その中で阿知須、嘉川、名田島、秋穂といったエリアが、どういうふうに津波が来た時の浸水の在り方であるとか、高潮を含めてその時の避難シミュレーションはどういうふうに組み立てができるのかといったことを考えようかと思っております。

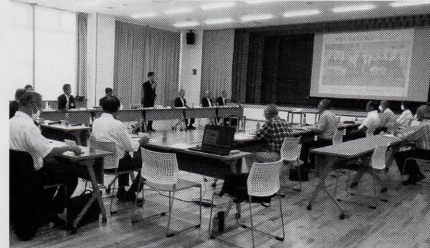
その前提として、今年ハザードマップの更新をいたしております。県が高潮の浸水想定の見直しを行いまして、若干今までの想定よりも水位が高くなったりしているところがかなりあります。それに連動する形で市としてもハザードマップの見直しをいたしまして「高潮編」については7月15日号の市報で南部9地域に各戸配布をいたしましたところあります。高潮については大体これが今の一番新しい浸水深の高さが示されたように思っております。

なお、津波についての浸水深は、県が見直しをしております。

せんので、津波についてはこれくらい同様の深さだと思っております。そして、この中でどういうふうに関地域域のこれからの浸水の被害であるとか、津波に対する避難経路であるとか、そういったものをどうシミュレーションするのかということではありますが、実は今、我々が思っておりますのが南部地域の中でも特にポイントになる地域は、沿岸部で最も人口の多い阿知須地域、これがひとつの大きなターゲットだと思っております。それから2番目のターゲットが浸水区域外に逃げるまでの距離が最も遠い名田島地区、これもひとつのターゲットだというふうに思っております。それから3番目のターゲットは、避難場所が一番少ない秋穂の大海地区、それをどういうシミュレーションができるのか、この3つの地域を中心にこれから避難のシミュレーションをしてみたいと、いざそういう地震が起こった場合等で考えているところであります。基本的にはコストがかかる問題でありまして、今いろいろな準備作業を進めておりまして、それをもとに専門業者に委託するようになります。それを来年実は考えております。およそ半年から1年ぐらい、専門業者のシミュレーションの作業に時間がかかるというふうに聞いておりますので、来年に予算を作ってしっかり業者に委託して1年間かけて今言った3つの地域の避難シミュレーションがどういうふうに成立するのか、あるいはそのためにまだ足りない部分があるのか、あるいは議論が出ておりますように、車の駐車スペースがない、あるいは道路が渋滞する、そういったものも含めてシミュレーションしたいというふうに思っているところであります。

やはり我々が今思っておりますのが、早期避難、分散避難といったことも同時に、システムチックにシミュレーションしてみる必要があるかと思っております。本来であれば歩いて逃げるのが一番重要な避難方法でありますけれども、どうしても車といったものも当然発生すると思っております。この阿知須地域のシミュレーションの中で車の保有状況を見ると阿知須地域は約7,000台の自動車保有数があります。その7,000台を浸水想定区域内に按分してみると約4,400台が浸水想定区域内に車があるのではないかと想定されます。その4,400台を全部避難させるにはどうしたらいいのかといったシミュレーションもあるかもしれませんが、その時は各戸に1台の避難の車といったシミュレーション、そうすると大体1,000台程度で収まるわけで、そのあたりのいろいろなパターンもいるのだろうと思っております。

そういった中で我々としては、現在ある避難場所と駐車場は、まず山口市阿知須の合同納骨塔が避難場所になっております。それからダイナム阿知須店の駐車場、これも借りられるようになっております。それから、ホームプラザナ







フコ阿知須店の駐車場も対象となっております。ただ、それだけで足りもこすりもしないのだろうと今の台数からいうとそういったことを思っているところでもあります。それから、もうひとつ今我々が考えているのが、宇部市のメルクスも駐車場がかなりあるので、行政区域が宇部、山口と違いはあるものの、災害時はお互い様の世界なので、そういったところも活用をお願いできないだろうかということで、実は行政レベル、宇部市と山口市の防災危機管理課の課レベルでは、議論を進めているところがございます。その方向が見えたら、今度は我々がメルクスに直接出向いて、こういったときはこういうこともできませんかというように議論をしてみようかというふうにひとつ思っております。それからもう一点、若干遠く車で10～15分かかりますがテクノパーク内のファーストリテイリング本社には駐車場、グラウンド、体育館、宿泊棟といった施設があります。それを今度包括連携協定みたいな形で、「山口市の緊急の時のために利用していただけますか。」という投げかけが水面下であります。それについてはひとつ大きな進捗になるのかというふうに思っております。

来年行う様々なシミュレーション結果やそういったことも踏まえながら、具体的な解決策を導きだせればいいかなというふうに思っております。その中では先程山田会長さんが言われた近くのあのいい丘があるといったものも横に並べながら議論する必要があるのかと思いますし、その時はグラウンドと避難というのはセットに今なった提案なので、とりあえずはシミュレーションを先にさせてくださいというふうな考え方であります。

その時、我々がひとつの案として考えているのが後の農振地域の解除という議論があります。その時にお話ししようと思うのですが、避難場所と車の逃げる場所のひとつの考えとして井関小学校のグラウンドでシミュレーションしてみるといざ避難という場合に350台の車が入ります。だから、この井関小学校が実は浸水区域外で、いざ津波がくるとか、高潮が来たというときの車が避難させる場所としては中々適地ではないかと我々は見えております。ただ、そうしたときに、さらに道路から井関小学校へのアクセスする道が非常に弱い。そうなった場合、市道整備をセットでやる必要があるというふうに思っています。もし市道整備が叶うのであれば、農振地域の解除といったものがある意味エリア的にはセットで組み立てができるのではないかなというように思いを私的には持っています。担当部長には直前で悪かったのですが、昨日初めてその思いを伝えまして、こんなことが考えられないかと。であれば、避難の課題、農振地域の課題、井関小学校の将来の児童生徒数への対処、この3つがある程度見えてこないかというふうな話を実は投げかけているところでもあります。それで実際にできるとなるとひとつの解決策にはなるかというふうに思っているところであります。

そうはいつでも「あじす元気ランド」の代替措置にもなり得る子どもたちが自由に遊べる遊び場づくりといった課題が別に残るのでしょうが、それについてはまたしっかり、次の論点として対応していく必要があるというふうに思っています。21地域、今ありますが自由に子どもたちが遊べる場所がどこにあるかと議論したら、実にありません。唯一あるとすれば、樫野川の県営の公園が1か所くらいです。それ以外のところで子どもたちが自由に遊べる場所をどういうふうに組み立てるのかといったことは、その問題だけを捉えると阿知須地域だけの問題だけでなく、21地域の共通の課題になってくるのだろうというところもありますので、そのあたりもまたしっかり議論させてもらえればと思っております。

<会長>詳しい中身まで説明していただきありがとうございます。

今、阿知須に車の登録台数が7,000台あるとは知りませんでしたし、約1人が1台近く持っているということになるかと思えます。1家族1台で逃げたとしても2,000台近くは避難が発生すると思いますが、大変避難場所についてもよその企業さんとの連携を持たれて、裏でいざとなったときの避難場所の確保、大変ご尽力いただいていることは重々わかりました。それはそれでわかったのですが、やはりメルクスに逃げるにしても宇部市なのですよ。ナフコは阿知須ですけれど阿知須の人は阿知須に逃げる場所がやはり私は住民の方に対しても説明が付きやすいし、説得もできると思うのですが、そういったものを考えて、サンパークの南側の高台ということでご提案を示しているわけですが、あの場所も周りを見渡すと開発がかなり進んでおりますし、いつ開発業者が良好な場所に目をつけて土地を購入されるかもしれません。そういった行為が行われる前に市としてもここに将来的にはこういう施設の計画があるのでよと雰囲気や匂わせるのはやはり私は必要ではないかと思っているわけでございます。名田島地区、それから秋穂地区、同じ立場というのは、今説明でわかりました。後ほどまた説明しますが、阿知須は若年層の入居がすごく入ってきて新築住宅もかなり増えておりますし、そういった中で安心安全を考えたら、阿知須専用の場所をひとつ井関小学校も含めて高台に新設をしていただきたいというのが私の考えでございます。それからまた後程に関連してきますが、メルクスやナフコに逃げるにしても、都市計画道路の早期着工、これがやはり重要になってくると思われま。ぜひそのあたりも含めて、お考えを進めていただきたいというのが地域づくりの考えでございます。

## 懸案事項2 農業振興地域の見直しについて

<会長>近年、阿知須地域の人口は横ばい状態となっております。阿知須地域は、山口宇部空港や新山口駅にも近く、また、宇部市や防府市へも車で、30分圏内で立地条件がいため非常に高いポテンシャルのある地域だと思えます。

阿知須地域は大きく分けて阿知須地区と井関地区に分かれています。阿知須地区においては、宅地開発が進んでおり開発されればすぐに売れるという状況ですが、開発できる土地は少なくなってきているのが現状です。対して、井関地区、具体的には国道190号線より西側の農地は、ほぼ農



業振興地域の農用地となっており、開発が難しい状況となっております。この規制を少し緩めていただけると井関地区においても、人口が増えていくものと思います。

現在、井関地区の人口は減少傾向であり、井関小学校の児童は1学年20人前後となっております、今後さらに減少することも想定されます。

また、現在、市が企業進出の受け皿として整備を進めてこられた鑄銭司第二団地の立地企業募集も始まっているようですが、ここの従業員の皆さんで防府市や宇部市に家を建てようという方が、規制を緩めていただくことによって、山口市阿知須に居住されるようになるかもしれません。

農業行政だけでなく、都市行政などの様々な計画がある中で、難しい面もあるかとは存じますが、阿知須地域のみならず山口市全体の人口増のためにも、是非、規制緩和についてお願いをしたいと思います。

<市長>これも昨年からの継続テーマだというふうに思っております。会長がおっしゃられたように、やはり阿知須地域というのは新山口駅あるいは山口宇部空港が近いということで、全県を見渡したときの一番動きやすい場所になるのであろうということで、若い方々はやはり住みたいエリアなのであるというのによくわかっております。小郡はかなりマンションがぎゅうぎゅう詰めになっておりまして、嘉川や場合によっては防府市の方にも影響しているというような状態です。そのひとつの流れが佐山、阿知須にもあるのだろうというふうに思っています。農業振興地域の見直しについては昨年も様々な議論をいただきましたけれども、今、農業振興地域の見直し地帯の基礎調査を実施担当部局がしております。それと並行する形で、昨年ここでいただいたご意見、あるいは他の地域でも同じような意見をいただいております。農振地域を守るのは良いですが見直しできているかという話も逆にあるわけでありまして。そういった中で山口市役所内の関係部局で調査検討チームを立ち上げております。地域要望の強いところでやはり現況として農業ではないというところはある程度開発の方に軸足を移す、そういった作業もいるのだろうということで議論しております。

先程おっしゃったように、幹線道路である国道190号線沿いあるいはJR岩倉駅の西側、このあたりについては公共下水道の事業計画区域というふうになっておりますので、当然人が住むことを前提にインフラ整備も進めていくというふうになっております。このあたりについては前向きに検討したらどうかという議論をしているところであります。それともうひとつは井関小学校側で、このあたりも農振地域があると虫食い状況になっているところもあります。そのあたりをひとつの団地として見立てて、そのエリアについても定住促進を進めてもいいのではないかと、そういった議論を並行して進めているところであります。そのひとつの提案として先程、避難場所としての井関小学校校庭、そのための道路の敷設、そういったところにひとつの開発可能エリアが確保できるのではないかといい思いを持っているところであります。トータルで形として進めていけないかと思っているのが私の思いであります。

<会長>農業政策にしても旧阿知須町の時代からの流れでこうなって現在に至っているわけでございますが、やはり

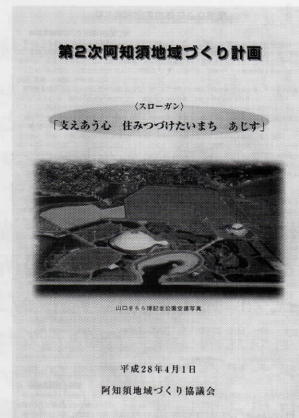
その時代から見るとかなり様相も変わっておりますし、時代の流れ、よその地域とは違う速さが押し寄せてきていると思います。市長さん十分わかっていらっしゃると思います。そのあたりを十分汲んでいただき、空港にも近い、新山口にも近いという立地条件、この勤めていらっしゃる方が会社に通うにあたって非常に交通の便が良い、こんな場所が私はないと思っておりますし、是非、全部解除というわけにはいきませんが、やはり井関の住民の方も人口を増やしてくださいというふうに重々言われております。そのあたりをお汲みいただいて、何かありましたら。

<市長>飯田前町長さんと会うたびに阿知須地域を「頼むよ」という話が出てまいります。井関小学校が無くなるようなことをしないでほしいというようなことを言われますので、そのあたりを含めて人口集積を考えたいと思っておりますのでございます。

### 懸案事項3 きらら浜の有効活用について

<会長>山口県において今年度、新規事業として「山口きらら博記念公園交流拠点化事業」を実施され、きらら浜を交流拠点として更なる交流人口の拡大に取り組まれるように聞き及んでいます。

今年度、きらら浜においては、6月に歌手の小田和正氏のコンサートが2日間で2万人、9月には例年開催されているワイルドバンチフェスが3日間で9万人、その翌週には音楽と花火のエンターテインメント「ディズニーミュージック&ファイヤーワークス」では1万人の集客を見込むイベントが開催されました。これらのイベントについて、先般4月28日に開催した阿知須自治会連合会総会の折に、イベントの主催者から説明と協力をお願いをされたところ、自治会役員からは阿知須地域の魅力発信、交流人口の増加が期待できるため多くの賛同があったところで。



第2次阿知須地域  
づくり計画策定の  
ための地域住民に  
対する  
アンケート結果  
(自由記述)  
※きらら浜に関する  
部分



- 【きらら浜北工区(きらら博記念公園)の活用】
- きらら博記念公園で大規模イベントによる集客力のある街になって欲しい。
  - きらら博記念公園など素晴らしい会場を各種のイベント開催で地区内外また国内外の多くの人達に喜ばれることを計画して欲しい。
  - きらら博記念公園はアクセスが良いのでコンサート等誘致し、阿知須の魅力を発信することで、一度来てまた来たいと思われる地域になって欲しい。
  - 北工区に大型ショッピングモールなど作って欲しい。
  - きらら浜北工区の有効活用(テーマパーク、巨大アウトレットモール、宿泊施設、温泉施設等々)多くの人が滞在できるようになると地域活性化につながる。
  - きらら浜で子どもから高齢者まで安心安全に集える施設があればと思う。
  - 大学の誘致等教育関係がいいと思う。



また、阿知須地域づくり協議会が平成27年に第2次阿知須地域づくり計画策定のために地域内の20歳以上の2,129人にアンケートを行った際に地域振興関連の自由意見を求めたところ「大規模イベントを開催し集客力のある街になってほしい」「テーマパーク、巨大ショッピングモール、宿泊施設、温泉施設など多くの人が滞在できる施設ができれば地域活性化に繋がる」「大学など教育施設を誘致してほしい」などの意見があったところです。

阿知須地域づくり協議会といたしても、きらら浜の有効活用は阿知須地域はもとより山口市全体の発展のためにも、歓迎するとともに協力していきたいと考えています。山口市においても積極的に各種イベントや施設の誘致などについてお願いいたします。先程市長さんが言われましたように、若者の遊ぶ場所がないということで、大変これから考えていかなければいけないとおっしゃられました。このあたりも関連してくると思いますので、含めて何かあればよろしくお願いいたします。

<市長>このきらら浜公園の有効活用については、県の村岡知事さんが一生懸命旗を振っていらっしゃる真っ最中なので、市としてはそこをしっかりと応援する役割になろうと思います。ご存じのように今年の4月に「山口きらら博記念公園交流拠点化推進室」といった新しい組織の設置をされております。そういった中でこのきらら浜の交流拠点化を進めるというふうになっておることではありますが、それに連動する形で、県は国に政府要望を行っておられます。これは昨年からですけれども令和4年11月にきらら博記念公園の交流拠点施設としての機能強化を支援してくださいという政府要望をされております。それに基づいて今年の令和5年4月に土木建築部に交流拠点化推進室を設置されたという流れになっております。そしてさらに今年の6月同公園の交流拠点施設としての機能強化についてももうひと支援してほしいと再度要望を政府に対してされたというのが今の県の動きであります。今年、県はこの事業にかなりの金額を投下しておられます。大体1億1千万の予算を仕組んでおられます。これで事業化の方向性あるいはサウンディング調査の実施といったことをこれからやられると聞いておりますし、また明日からアーバンスポーツの実証実験をまた取り組むという新聞報道もされておりましたので、中々矢継ぎ早に展開されるというふうな受け止め方をしているところでもあります。県としてはきらら浜の利用客数が年間16万人で、それを令和8年には80万人にまで引き上げたい、これは県知事さんの目標でかなり意欲的な数字です。市としてはとても嬉しいことなのですが、それによって市として県知事さんにお願いしているのは、小田和正さんの時の渋滞状況ですとか、ワイルドバンチの時も渋滞するということもありますので、そのあたりの渋滞に関してしっかりお願いを個別でもしておりますので、その時に知事さんも渋滞の状況もよく耳に入っているようで、「私もそれはすごく大事に思っている。ただ平常時の道路使用率と、これを土木建築部が言うてくる。」というふうにおっしゃっています。平常時の道路の混雑度というのはそんなによそと比べて混雑しないのと、阿知須エリアの都市計画道路の整備率というのは他のエリアと比べてかなり高いと、その辺を考えるとすぐに道路というよりは、県の土木建築部

として今考えているのは、今の駐車場をしっかりと回すということと、誘導体制をイベントの時に整える。それでかなりの効果が出るのではないのか、そういった見方を土木建築部はしていると村岡知事が言われているところでもあります。それで実際どれくらい効果が出るのか、小田和正の時も2日目はかなりスムーズにいったというふうな話を、知事さんは聞いているようでもあります。その辺、しっかり検討しながら道路についてもお願いしますと話をしております。周辺の都市計画道路も私はやる必要があると思っています。やはり小古郷岡山線はアップダウンが激しいし見切りが悪いしといったところで、あの辺りはしっかり進めたいということで、また県要望も今まで以上にしっかりとやっていきたいというふうに思っているところでもあります。

#### 懸案事項4 都市計画道路(海岸線～岡山線)の早期着工について

<会長>ただいまのご回答は、懸案事項4にも関連するような内容といった感じになろうかと思いますが、そういったことで今後の企業誘致、県の土地ですから山口市はどうこう言うわけにはいかないとは思いますが、やはり他県からある程度こられますと山口市にもかなりのお金が落ちてくると思います。宿泊施設を含め、スーパーとかの購買にかなり影響してくるのではないかと思います。そのあたりも含めて山口市としての誘致方法をこれからはぜひ考えていただきたいと思っております。9月は毎週花火が上がりました。阿知須の住民からすると祭り状態がつづき癒されました。しかし、周辺道路は大変混雑しました。特に小古郷岡山線は道路も狭く、道路沿いの方は、「家が揺れ外に出て危険を感じる。」と言われております。そういったことを含めて、早急に都市計画道路の完成というのは急いでほしいというのがあります。それと阿知須と宇部市の境ですが日の山地区にまだ畑がかなりあります。これも農振地区かどうか調べてないですが、この道路ができることによって、そのあたりが眺めも良いですし、宅地開発が進み、こちらに移住される方が結構いらっしゃるかと思います。大きく見ると計画道路早期着工は山口市全体を考えたら、山口市にとって利益があるものではないかと思っております。ぜひ力強く県のほうにも言っていただきたいと思います。

<市長>私も思いは全く一緒です。県内の定例市長会議というのがあり、そこに知事が来られたりする時があります。知事が「きらら浜しっかりやるよ」というふうなお話をされたので、すかさずお願いをしておきました。これからの山口県中部の経済活力を保つためには、山口宇部空港と新山口駅、この二つの交流拠点をしっかり結んでいく作業が一番大事ですよね。その中で真ん中にちょうど阿知須なのですよね。そのための道路体系の整備、これ待たなしと思っていますよという話は、全首長さんを前にいたしております。しっかりこれからも要望してもらいたいというふうに思っております。





<会長>宇部市と連携中核都市、これは大変これから重要になってくるだろうと思います。市長さんと宇部市長さんと連携してよろしくお願ひしたいと思ひます。

#### 懸案事項5 あじすふるさとの丘公園の整備に向けて

<会長>ふるさとの丘公園は、阿知須地域が一望できる素晴らしい環境を活用し、阿知須地域の観光資源の発信の場として、また地域の方々の憩いの場として親しまれるように平成29年から岡山霊廟と一体的にボランティアの手で環境整備に取り組んでいるところです。また、昨年からは伐採した竹を竹チップに加工して県道善和阿知須線沿いのツリーサークルに散布することで雑草の繁殖を防ぐことができなから社会実験をしております。

公園の整備について、昨年の移動市長室「やまぐち元気・未来トーク」におきまして、竹の伐採など環境整備がスムーズにできるようにスロープとトラックが入れる道路の整備や老朽化したトイレの改修のお願いをいたしたところ、スロープと道路については早速整備していただき、またトイレについても岡山霊廟にお参りされる方にも利用しやすい場所にこれから整備いただけるということで感謝しております。

このふるさとの丘公園は、将来的にカブトムシの繁殖や椎茸栽培など子どもたちの体験の場をつくらうという案も出ております。

竹藪を伐採したところは現状低くなっていますので、この計画を実施するため、この場所を平らにさせていただくことはできないでしょうか、山口市内で行われる工事の残土、これは産業廃棄物法に触れない程度の残土でございますが、そういったものもここに捨てていただき平らにさせていただければ、こういう計画もスムーズに進むのではないかと考えております。

また、現在使用しているトイレの建物について、シャッターなどを付けていただいて竹チップをつくる機械などの倉庫として再利用できます。せつかくある建物でございますので是非これを存続していただき、そういった倉庫にできないかというお願いでございます。



<市長>平らにしてほしい場所については、事業計画も含めてまたご相談いただいで必要であれば対応いたします。これはどこが対応するようになりますか。

<総合支所長>総合支所に対応するようになると思ひます。

<市長>では、そういう方向でまいりましょう。それとトイレを倉庫しての利用、これはいろいろと庁内でも議論いたしているみたいです。実際可能なのかという話をしたのですが、やはりトイレ自体が昭和40年代の建設だそう。もう50年以上経っているから、他に転用して使うのが逆に危ないという議論の方が庁内で強くございます。そのあ

たりもまたご理解いただきながら対応できればというふうに思っています。

<会長>今、総合支所長さんも担当ということで、それこそ雨が降れば少し水が溜まるような状況でございます。できれば先ほども言いましたように、発生残土で捨てるお金がかかるのであればそういったところに投棄して平らにしてみれば一度に済むのではないかと考えております。将来的に地域づくりとしてどういうふうに考えているのか、絵を描けと言われてもいろいろと議論等もありますし、カブトムシの繁殖や椎茸栽培と言いましたが、そういった子どもが喜ぶような、いつでも家族でお弁当を広げてまた遊びができるというようなところを作りたいと思っております。また地域づくりとしてもそのあたりが見えてまいりましたら、市長さんはじめ担当部局様にお示しをしたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

#### 懸案事項6 岡山霊廟塔のスロープ設置について

<会長>岡山霊廟には、多くの方がお参りに来られます。参道など岡山霊廟塔の入り口まではスロープが設置されているのですが、入り口のところは急な階段でスロープが設置されていません。ご年配の参拝者が多く見受けられておりますが、本当はお参りしたいけれど入り口で待っておく人もいらっしゃるのをお聞きしております。是非、ご年配の方や足の不自由な方が楽にお参りできるようにユニバーサルデザインに配慮した施設となるようにスロープの設置を早急にお願ひいたします。



<市長>問題はスロープの勾配を取るためにどれくらい距離があるのかということと、収まるか収まらないかという話だけだろろうと思ひます。収まらないときは入り口をずらすみたいな作業しかないのらろろうと思ひますので、具体的な回答を都市整備部長はなにか持ってきていますか。

<都市整備部長>都市整備部の方でいろいろ各課がやる建設に関する事業の設計を受け持っているところで、そういった立場でご回答させていただきます。今の既存の施設の中で勾配を解消するというのは非常に難しく思ひます。事業費の問題とかいろいろあるのですが、屋根を設置し、階段の勾配を外側に延長していくような検討を進めているところでございます。予算の案件もありますので、地域生活部の予算措置ということになりますが、そういった中で、関係部局同士でしっかり調整しながら、またご提案いただきたいということでしたので、お返しをさせていただきますと思ひます。以上でございます。

<会長>今、ご答弁では進めているというふうなことで解釈してよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。



この建物も阿知須町の時代に全国的にも有名な建物で雑誌に載った建物でもございます。上に三角の塔があったわけですが、これを除けるときに住民とすれば寂しい思いがあったわけでございます。耐震化ということでああいうふうになったわけですが、今後なにか三角をイメージできるように何かできないかという考えも今、地域づくりの中では議論としてあります。別にその上に人が上がらなくてもいいですから、昔の面影を残すような耐震に満足した何かそういった、光でもいいので三角に、昔の塔のイメージが浮き上がるようにしていただければという思いもあります。どこから見ても阿知須はあの塔が見えたわけです。遠出から帰ってくる人たちはあの塔が見えるわけですよ。阿知須に帰ったというすごい思いがあったわけです。それがいきなり無くなって、大変寂しい思いをしておりますが、そういったことでその辺の阿知須らしい光か何かで表現をできることを地域づくりとしても考えておりますので、その時はまた市長さんご協力とご理解をいただいて、ふるさとの丘公園に行ったら安心するような住民の憩いの場所にしたいと思っておりますので先ほどのスロープを含め、今後ともよろしく願いをいたします。

<市長>お気持ちはよくわかりました。ひとつのランドマークだったわけですね。僕のイメージでは岡山霊廟のあのタワーと、旧阿知須町役場の塔がありましたね。あのふたつが阿知須を象徴する建物だなあという気がしておりましたので、その辺もしつらえも含めていろいろとご相談をさせていただければと思います。

#### 懸案事項7 井関川の堤防の嵩上げと亀裂に対する対応について

<会長>これはずっとお願いをしているわけでございます。いろいろと補修をしているというふうに聞いておりますが、令和3年度は、阿知須大橋より下流側の亀裂の補修を実施していただきました。上流側の亀裂や嵩上げについての、スケジュールがありましたら、今年度の状況についてお聞きしたいと思います。



<市長>県土木の方に今年度あるいはこれから先のスケジュールを確認したところ、具体的にあれをするこれをするという計画はなかなかありませんと、あそこで安全パトロールをやっている中で必要であれば絶対やるという返事をいただいております。そのあたりでご理解いただければと思っております。

<会長>引き続きよろしく願いいたします。今日は大潮で先ほど市長さんが見られたとおりあれだけ潮が上がってまいります。やはり早急の対応をお願いしたいと思います。

#### 懸案事項8 井関川・土路石川の堆積物や樹木等の撤去について

<会長>これは令和2年度、3年度に井関川及び土路石川



の一部で堆積土砂の撤去をしていただき感謝申し上げます。土砂や流木等の堆積物や生い茂る樹木の除去について、今後も年次計画的な対応をお願いいたします。引き続き毎年度はいきませんが、樹木等結構生えておりますので、短い期間でお願いをできればと思います。

<市長>これについてもなかなか芳しい答えが、県土木の方からいただけないわけですが、広いエリアの中で県土木も年度、年度、極力広いエリアを何とかカバーしようというところで努力はされていると思います。市としては県の立場は半分はわかるのですがしっかり要望を毎年いたしております。あとは具体的にどういった箇所づけが必要になるのかといったことは、県土木とうちの都市整備部が毎年会議を開いております。そういった中でまた実務レベルでもしっかり必要性を訴えていきたいというふうに思っております。

#### 懸案事項9 市道沿いの道路側溝の溝蓋の設置について

<会長>昨年の移動市長室「やまぐち元気・未来トーク」におきまして、市道海岸線の道路側溝の溝蓋についてお願いしたところ、昨年一部実施していただき、引き続き今年度は100%の完成をするということでお考えをお聞きしました。大変感謝申し上げます。

各地域の自治会からも市道の道路側溝について、溝蓋やグレーチングが未設置のところがあり要望が毎年寄せられます。地域づくりとしましても対応できるところは対応しているような状況でございます。ただ、費用がたくさんかかること、それから通学路とか重要なところがございます。そういったところは早急に溝蓋や手すりとかを付けなければいけないと思っておりますので、今後危険防止のためにも引き続き年次計画を立てていただき、対応していただきたいというのが地域づくりの考えでございます。

<市長>会長さんがおっしゃるように対応が必要なところはしっかり対応すべきだと私は思っています。なかなか市の職員だけで気づけない部分があると思います。その時はまた会長さんの方に入った情報をそのまま総合支所の方に相談していただければ、対応できるところはすぐにできますし、予算的に厳しいようであれば本庁の本課の方がしっかり対応すると思っておりますので、そのあたり気軽にまた相談していただければというふうに思っております。海岸線の207mについても今年度中にしっかりやります。

<会長>海岸線については本当に感謝しております。あそこは都市計画道路内で本来ではあまりお金をかけてやるべきところではなかったと思っておりますが、この都市計画道路もいつ完成するかもわかりません。その中で市長さんの決断ですぐにやっていただけたと感謝しております。



令和5年度、地域づくり計画の活動テーマ「みんなが主役 元気のあるまちづくり」  
「すばらしい阿知須の財産を守り人財を活かすまちづくり」に取り組んだ事業紹介

SUP体験会



7月から9月まで10回開催し、延べ129人の大人と子どもが参加しました。



ディスクゴルフ体験

チャレンジ!フィットネスinあじす



高齢の方を対象とし、活動量に着目した運動を行っています。今年度は、6回実施しました。1月の健康運動講座では、ストレッチや筋力トレーニングを行いました。

「あじすふるさとの丘公園」整備



地域ボランティアの力で桜や紫陽花等の花が楽しめるように整備を続けています。

千鳥ヶ浜海岸清掃



7月15日(土)実施、77名の方が参加され、大量のゴミや流木を片付けました。



ボランティアで竹藪を撤去した場所の草刈りも行いました。

小正月フェスタで焼き芋提供



1月13日(土)開催の小正月フェスタでは、「きらら家彩農園」で育てた「さつま芋」を焼き提供しました。行列ができました!

竹チップづくり



あじすふるさとの丘公園(岡山霊廟周囲)の竹をチップに変えて活用!!

きらら家彩農園



6月11日(日)、きらら家彩農園で、「さつま芋」を植えました。

駅前の花植え



生徒がお世話をしています。



寒い中、  
私たちのために  
おいしいお芋を  
作ってくさり  
ありがとう  
ございました

阿知須中学校へ焼き芋提供



1月12日(金)、阿知須中学校卒業生へ学業成就の願いを込めて焼き芋をプレゼントしました。